

風俗絵画の文化学

II

虚実をうつす機知

松本郁代・出光佐千子・彬子女王編 ▶A5判・450頁／定価7,350円 2012年3月刊行

風俗絵画とは虚実をうつす機知の媒体である――

美術史・歴史学・文学・文化人類学等を専門とする研究者が、それぞれの専門性を生かした風俗絵画分析を進め、粘り強く議論を繰り返して生まれた学際的文化研究。

絵画の制作に関わった人々の複雑に絡み合う視線の交錯を文化的に考察し、そこにあらわれた「機知」――虚実を往来する機微や感性の「かたち」――を明らかにしていく15篇。

第1部 祝祭の視界と権力の描写

狩野内膳筆「豊国祭礼図」論

『帝鑑図説』と徳川將軍の〈中華〉

神宮文庫蔵「祇園祭之図」について

― 祇園祭礼図の成立に関する試論 ―

戦国期京都の祇園会と絵画史料

― 初期洛中洛外図を中心に ―

廣海伸彦（出光美術館学芸員）

松島 仁（国華社）

八反裕太郎（颯川美術館学芸員）

河内将芳（奈良大学教授）

第2部 他者の視線と日常の表象

風俗画

― 「浮きたること」を取り締まる ―

喝食の額髪

― 「銀杏の葉」型額髪の意味をめぐって ―

浮世絵にみる江戸の園芸文化

― 植木売り・植木市・植木鉢 ―

浮世絵にみる他者の視覚化

― 「唐人」という視点から考える ―

タイモン・スクリーチ（ロンドン大学SOAS）

川嶋将生（立命館大学教授）

日野原健司（太田記念美術館学芸員）

鈴木桂子（立命館大学准教授）

第3部 表現の形象と古典の流通

池上本門寺所蔵「大江山縁起図屏風」小考

西川祐信の絵本と江戸の春本

― 鈴木春信・北尾重政を中心に ―

初期団扇絵の事例と宝暦年間の弘法大師信仰の流行について

― 墨摺団扇絵「弘法利生水」、紅摺団扇絵「大師弘法御利生の水場」の紹介を兼ねて ―

岡本麻美（山口県立美術館学芸員）

石上阿希（立命館大学P.D.）

奥田敦子（墨田区文化財課）

第4部 作品の享受と意匠の変遷

池大雅筆「瀟湘八景図」研究

― 詩画一致の鑑賞方法から ―

英一蝶「四季日待図巻」を読み解く

― 〈座敷芝居〉にみる江戸中期の芸能上演 ―

近代京都の光琳派意匠に関する一考察

― 浅井忠と神坂雪佳の比較から ―

出光佐千子（出光美術館学芸員）

池田美美（サントリー美術館学芸員）

坂口さとこ（京都造形芸術大学）

風俗画と京都

― 京都商品陳列所の公式カタログに描かれた風俗画を中心に ―

彬子女王（立命館大学P.D.）

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票

発行：思文閣出版

（京都 取引コード 3402）

| | | | |
|------|---|---|--|
| 冊数 | 冊 | 風俗絵画の文化学II 本体7,000円(税別) ISBN978-4-7842-1615-4 | |
| お名前 | | tel | |
| | | e-mail | |
| ご住所 | 〒 | | |
| 送本方法 | <input type="checkbox"/> 書店経由（このちらしを書店にお渡し下さい） <input type="checkbox"/> 代引（書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い下さい） | | |

書店番線印

※ 風俗絵画の文化学

都市をうつすメディア

松本郁代・出光佐千子編

▶A5判・370頁／定価6,825円 ISBN978-4-7842-1469-3

2009年7月刊行

中世から近世における風俗絵画のメディア性に着目し、そこに描かれなくなったものの持つ意味や享受者の視点、都の社会における聖と俗の姿、風俗絵画に表された芝居空間や行事のかたちや年代とともにどのように姿を変えたのか、さらには、「風俗画」が近代に至りいかなる解釈を得て「風俗画」となり得たのか、など様々な視点からアプローチする。歴史学・美術史学・文学・宗教史学などの多岐にわたる分野の専攻者がその分析にいとむ13篇。カラー口絵4ページ、本文には図版を多数掲載。

■■■■ 内容目次 ■■■■

序章 巨視と微視の文化学

松本郁代（横浜市立大学准教授）

第一部 場の記憶

「清水寺参詣曼荼羅」試論 ー想定された享受層者をめぐってー

上野友愛（学習院大学博士後期課程）

中世京都・東山の風景 ー祇園社境内の景観とその変貌をめぐってー

下坂 守（奈良大学教授）

「北野経王堂」と「諏訪の神事」

マシュー・マッケルウェイ（コロンビア大学准教授）

ー室町時代京名所扇面図の場と記憶ー

第二部 聖俗の描写

中世における職人絵の登場 ー職能者をもみる目線と社会ー

松本郁代

近世風俗絵画のなかの節季候

川嶋将生（立命館大学名誉教授）

池大雅が描いた都市景観と風俗表現

出光佐千子（出光美術館学芸員）

第三部 伝承の変化

「根来」と根来塗 ー絵画資料に見る根来ー

源城政好（帝塚山大学教授）

立命館大学ARC所蔵「東山名所図屏風」の主題考察

金子貴昭（立命館大学博士後期課程）

ー相模掾操芝居図を中心にー

江戸の劇場図 ー菱川派を中心にー

松葉涼子（立命館大学PD）

風俗《曲水宴図》の思想と変容 ー月岡雪斎と窪俊満を例としてー

亀田和子（ブリティッシュ・コロンビア大学博士課程）

第四部 解釈の創出

「風俗画」再考 ー西洋における日本美術研究の視点からー

彬子女王（オックスフォード大学博士課程）

写真は真を写したか ー明治初期の万国博覧会写真と日本陶磁器ー

前崎信也（立命館大学PD）

中国における「清明上河図」研究の現状と課題

張 建立（中国社会科学院日本研究所准教授）

あとがき

英語・中国語目次